

(1) 石川地区まちづくり計画

○ 地区の概要・特性

石川地区は、商店街、公共施設、教育施設、住宅等が連なる北町区から猫啼区までの市街地を形成する地域、西部に位置する農業を中心とした王子平区、和久区及び新屋敷区、商業施設や住宅団地を中心とした新田区により構成されています。

面積は、約16.6km²で、全体が町民生活の中心的な役割を持つ地区です。

地形的には、市街地域は、今出川・北須川を挟んで源平山、石尊山、秋葉山、八幡山、愛宕山などの山並みが連なり、川沿いの桜、山のつつじ、あじさい、紅葉などを有機的に結びつけたまちづくりに最適の環境にあり、また、神社仏閣や自由民権運動に関する旧跡も多く、文化・歴史等先人に学ぶことができる地区でもあります。

西部地域は平坦で、町の穀倉地帯として古くから良質の農産物を生産しており、付加価値が高く安全・安心な農産物の生産に地域を上げて取り組んでいます。

また、国道118号沿線は、住宅団地やショッピングセンターが建設され、住宅・商業地域として発展しています。

○ 地区の現状と課題

- ・ 少子高齢化の進行や後継者不足が見られることから、これらに対する対応が求められています。
- ・ 消費行動の郊外化や町外への流出が進んでいることから、中心市街地商店街の活性化が必要です。
- ・ 先人が育んできた自然環境、文化遺産の活性化や公園・駐車場の整備が必要です。
- ・ 河川の環境改善が必要です。
- ・ 農産物の高付加価値化や価格保障が必要です。

○ 事業計画

〔計画1〕 群れ桜の里 石川

〔目的〕

- ・今出川、北須川沿いの群れ桜を地域の誇りとして、町内を桜で埋め尽くした桜谷を形成し次代に伝えていきます。

〔取組内容〕

- ・高田桜の保存、継承事業 ・桜木の更新 ・桜のネーミング募集 ・桜マップの作成
- ・石尊山の景観形成 ・公衆トイレ、駐車場、ベンチ等の適正管理

〔計画2〕 あじさいの里 石川 ・ 紅葉（もみじ）の里 石川

〔目的〕

- ・群れ桜と共に、あさひ公園、親水公園、八幡神社、古町川沿い、石尊山等にあじさい、つつじの植栽を行うと共に、愛宕山公園、八幡神社、石尊山、秋葉山、源平山、町民グラウンド公園等へもみじを植栽し町内の景観形成を図ります。

〔取組内容〕

- ・あじさい、つつじ、もみじの植栽 ・桜マップに合わせたマップの作成

〔計画3〕 ホタルの里 石川

〔目的〕

- ・今出川、北須川をはじめ、全町をホタルと共に生きるまちをつくる活動を進めます。

〔取組内容〕

- ・ホタルが生息できる環境づくり ・水環境改善への取り組み
- ・桜マップに合わせたホタルの里マップの作成

〔計画4〕 名所・旧跡・歴史の里 石川

〔目的〕

- ・地区内の名所、旧跡等の歴史を大切にする活動を進めます。

〔取組内容〕

- ・桜マップに合わせた名所、旧跡マップの作成 ・自由民権運動の調査、保存
- ・鉱物学習の推進

〔計画5〕 安心して住める結の里 石川

〔目的〕

- ・地域が安心して信頼しあえる活動を進めます。

〔取組内容〕

- ・町内をあいさつ通りにする ・高齢者や地域住民の集いの場づくり
- ・障がい者や高齢者が住み良いまちづくり ・声かけ活動の推進
- ・直売所（道の駅）建設促進と運営への参加 ・食の安全、安心への関心向上と取り組み
- ・付加価値の高い農産物生産への営農改善 ・地場産品の使用拡大